

## 温暖な気候を活かしたそば春まき栽培の生産技術確立と産地形成

(2011～2013年度)

**共同研究機関:** (独)農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター(代表機関)、宮崎県総合農業試験場、鹿児島県農業開発総合センター、沖縄県農業研究センター、熊本製粉株式会社研究開発課、日穀製粉株式会社開発本部、宮崎県農政水産部、大分県豊後高田市役所農林振興課

**研究概要:** 蕎麦の需要が多い夏季に国産の新蕎麦を供給するため、春に播種して初夏に収穫する新しい栽培型(春まき栽培)生産技術確立し、産地形成を図る。そのため春まき栽培に適した新品種「春のいぶき」「宮崎早生かおり」と、湿害を回避するための畝立て表層散播技術を軸に、施肥技術の改良、収穫適期予測法の開発、高水分種子の高品質乾燥調製技術等の確立によって多収高品質生産を可能にするとともに、製粉・製麺適性と官能評価により、春まきそばの特性を活かした商品を開発する。



### 課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



九州沖縄農業研究センター  
水田作・園芸研究領域  
土屋 史紀

「そば春まき栽培」の課題は、九州沖縄農業研究センターを中核機関として平成21年度に応募したものの不採択となった経緯があります。しかし、春まきそばは生産者や流通加工業界から強く期待されていました。こうした背景と九州バイオリサーチネット・コーディネーターの支援・指導により課題内容の見直しを進めました。特に研究の出口を明確にし、研究内容の大幅な見直しを進めるとともに、共同研究機関・普及支援組織の構成についても大幅に改めました。見直し作業中は逐次コーディネーターの意見を求めるとともに、「課題検討会」の開催についても支援を受けました。このようなコーディネーターの支援が今回の採択の大きな力になったと考えます。